

地域創造フォーラム 2018

～ allぐんまで考える観光まちづくりと自らの役割 ～

上信電鉄上信線沿線には「富岡製糸場と絹産業遺産群（世界文化遺産）」及び「上野三碑（世界の記憶）」といった世界的なランドマークが存在します。

この上野三碑や絹産業遺産群から、東国・群馬が古代、近年ともに、技術の最先端国であったことがわかります。東国・群馬の長い年月の中で紡がれてきたローカルな歴史と文化がいま、国内外から観光客を集め、グローバルな交流を生み出そうとしています。

このフォーラムでは、高崎商科大学のローカルな取り組みを、上信電鉄沿線地域のインバウンド観光の推進やグローバルな人材育成に結びつけるためのストーリー（物語）を探求します。

定員150名
入場無料

日時

2018年

3月4日 日 13:00～（受付：12:15～）

※新校舎4号館(SKY)をご覧ください

高崎商科大学 大講義室

群馬県高崎市根小屋町741
上信電鉄「高崎商科大学前」駅より徒歩5分
(当日は大学駐車場もご利用いただけます)

第1部

13:15～13:40

■本学COC事業成果報告

竹上 健（高崎商科大学 商学部 学部長）

13:40～14:40

■基調講演

「地域文化資源のストーリー化とその手法～各地の日本遺産事例などを参考に～」

講師：東洋大学大学院国際観光学部客員教授・ANA総合研究所シニアアドバイザー
丁野 朗 氏

休憩（10分）

第2部

14:50～15:20

■商科大学生による活動報告

- (1)上野三碑をランドマークとする観光資源について
- (2)観光客満足度調査から見る富岡市
- (3)下仁田町特産の桑茶と『桑わんグランプリ in 群馬』

15:20～16:30

■パネルディスカッション(コーディネーター：前田拓生CPCセンター長)

高崎観光協会、富岡市観光協会、下仁田町観光協会、
東洋大学大学院国際観光学部客員教授・ANA総合研究所シニアアドバイザー 丁野 朗 氏、
群馬県立女子大学群馬学センター教授 熊倉 浩靖 氏

後援

群馬県・高崎市・富岡市・下仁田町・
上信電鉄株式会社・しのめ信用金庫・高崎信用金庫・
株式会社テグレット技術開発・上毛新聞社

高崎商科大学

コミュニティ・パートナーシップ・センター(CPC)
〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町741
027-347-9344 (直通) / cpcjim@uv.tuc.ac.jp